

ボランティアコーディネーション

第4回

専門性を確立し、社会的な普及をめざすステップとして

特定非営利活動法人 日本ボランティアコーディネーター協会 事務局長

ごとうまりこ
後藤麻理子

■ボランティアコーディネーターになるにはどうしたらいいの？

ここ数年のことですが、「ボランティアコーディネーターになるにはどうしたらいいのですか」「何か資格があるのでしょうか」という大学生や転職希望の方からの問い合わせを受ける機会が増えました。

ご承知のとおり、日本では現在のところボランティアコーディネーターの資格制度や明確な採用基準はありません。ボランティアコーディネーターには専門性が重要だといつつも、実は養成のための教育システムも、採用されてからの標準的な研修体系やキャリアアップのモデルも、具体的にはほとんど確立されないのが現状です。

■ボランティアコーディネーター専門職制度構築に向けて

そこで、当協会では2005年度に専門職制検討プロジェクトチームを設置し、手はじめに先行事例のある英米の状況について情報を収集しました。イギリスにおいては国の定める「職業資格制度」へ位置づけられており、政府が強く関与しつつ、認証にあたっては民間団体であること。また、アメリカにおいては、専門性を持った職業として民間の専門職団体が認定をしており、まったくの民間団体の取り組みであること。そして、いずれも認定をするための基準を多くの関係者の参加を得てかなりの時間をかけて策定したことなどがわかりました。(※注)

日本ボランティアコーディネーター協会では、これらを議論のベースにしながら、我が国の現状をふまえ、日本におけるボランティアコーディネーターの資格制度の議論が2006年12月から本格的に始まりました。

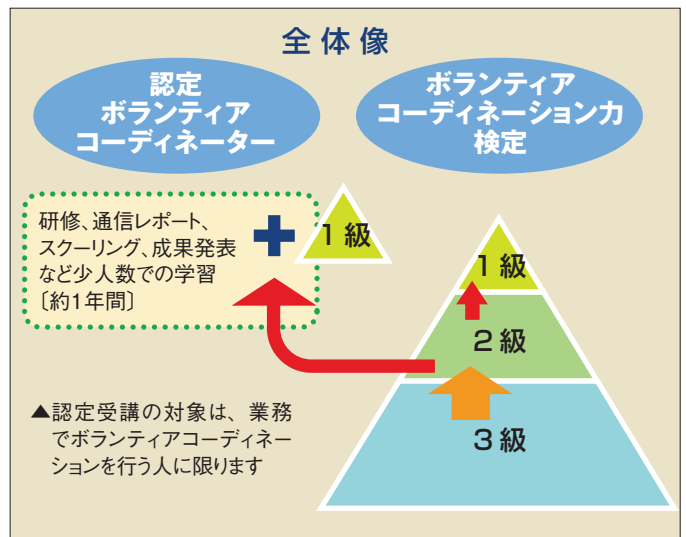
そして2009年、幅広い分野の関係者によって協議され、構想された2つの枠組みのシステムを提案するに至り、この夏、まずは基礎的な部分(3級検定)から始動することになったのです。

■コーディネーション機能の普及と専門職養成を車の両輪として

2つの枠組みとは、ボランティアコーディネーションの機能を幅広く

い市民に身につけていただき、その力が地域や組織において発揮されることを意図した[ボランティアコーディネーション力検定システム]と、業務としてコーディネーションを担う専門性の高いボランティアコーディネーターを養成するための[認定ボランティアコーディネーターシステム]です(下図参照)。

これらのシステムにより、ボランティアコーディネーションという機能が社会的に普及し、市民参加型の社会づくりの土壌をつくるとともに、市民の社会参加を支えるプロフェッショナルとしてのボランティアコーディネーターが我が国においても定着する、その第一歩がふみ出せるのではないかと考えています。



※注：海外の取り組みについては『ボランティアコーディネーター白書 2005-2006年版』(大阪ボランティア協会)における妻鹿ふみ子(本会代表理事)論文が詳しい。

◆◆◆ 会議・イベント・助成関連情報 ◆◆◆

第16回ボランティア活動助成について

(財団法人 大和証券福祉財団)

- 1. 応募資格：** ボランティア活動を目的とした団体・グループ
学生・若者のボランティア活動も積極的に支援します。
(申込に際しては、社会福祉協議会・共同募金会等の推薦を受けてください)
※第13回(平成18年度)以降に当財団の助成を受けた団体・グループは、本年度の応募資格はありません。
- 2. 応募課題：** 特に在宅老人、障害児・者、児童問題等に対するボランティア活動
- 3. 助成金額：** 上限額:30万円 総額:5,000万円
(内、500万円は災害時ボランティア活動に対する助成)

- 4. 応募期間：** 平成21年8月1日～平成21年9月15日(当日消印有効)
- 5. 助成対象期間：**
原則として平成22年1月～12月の活動に対して助成
- 6. 発表期日：** 平成21年12月上旬
- 7. 応募方法等詳細：**
<http://www.daiwa-grp.jp/branding/citizen/support/dsf/outline.html>

お問い合わせ先：
〒104-0031
東京都中央区京橋1-2-1 大和八重洲ビル
財団法人 大和証券福祉財団 事務局
TEL. 03-5555-4640 FAX. 03-5202-2014